

わくわく総合

文化・歴史

興味の広がりイメージマップ作り（第1回～第2回） 情報の収集とテーマの絞り込み（第3回～第4回）



「仁礼の宝物」をテーマに、食べ物、衣服、言い伝え、行事、神社など、地域にある文化や歴史についてイメージマップなどを使い考えを広げました。

自分が住んでいる地域の歴史（亀倉神社、石小屋洞穴など）や、昔の遊び（けん玉、独楽）について、現時点で学びを進めていくための「めあて」を決めました。



インターネットや図書館の資料を用いて、具体的な事実を確認しました。

高仁神社の成り立ち（11の神社が合併）や、石小屋洞穴で発掘された「微隆起線文土器」などの知識を深めました。また、地域の名前の由来なども明らかにした人もいました。

専門家との出会い（第5回）



地域の専門家篠塚さんへのインタビューを実施し、仁礼の歴史を学びました。また、寺林さんにもお話を聞きました。



篠塚さんから、インターネットにはない「昔の仁礼地域の人の食事（イナゴを食べるなど）」や「川で飲み物を冷やす生活」など、生の声を聞くことで関心が高まりました。そして、今まで抱いていた疑問も解消。

実際の現地調査（フィールドワーク）（第6回）

地域の専門家である篠塚さんの話を受けて、実際の現地調査（フィールドワーク）が行われました。



実際に高仁神社や萬龍寺を訪れ、建物、御柱、石碑の大きさや歴史の重みを肌で感じました。

探究活動を共に行う縦割りグループの発足（第7回）



探究するテーマが異なる縦割りのグループを編成。上級生が「答えを教える人」ではなく、調べ方やまとめ方を手助けする立場になり、下級生は活動の見通しをもちやすくなります。今後は、互いに関わりながら学習を進めていきます。

情報の整理・表現と新たな創造（第8回）



集めた情報をCanvaなどのICT端末を使ってまとめ、中間発表の準備を進めました。また、知識をまとめるだけでなく、「竹馬」「竹の弓矢」「竹の箸」を実際に作るなど、文化を「体験・再現」する活動へと発展しました。

食・栽培グループ

《子どもたちの願い》

- ・色々なものを育てておやきとかを作りたい。
- ・色々な学年の人と料理したい。
- ・仁礼に伝わる食べ物を作りたい。

キャベツの
餃子

漬物
キャベツ
オクラ

おやき
なす・トマト
かぼちゃ・野沢菜

こねつけ
五平餅

- ・おやきって、どうやって作るの？
- ・全校のみんなに紹介したいな！
- ・オリジナルレシピもできるかな？
- ・どんな方法で紹介すればいい？

自分たちでレシピを
調べてみたよ！

去年お世話になった
西澤さんに、教えてもら
えないかな？



とてもおいしくできたよ！
自分たちで育てた野菜でつくるのが
楽しみだね！
味付けをアレンジするのもよさそう！



6/29(月)

おやき・ニラせんべいの基本の作り方を郷土食ブランドづくりグループの皆さんに教わりました。生地のやわらかさや包み方、地域の味付けを知り、秋に自分たちで育てた野菜で作るおやきのイメージがわきました。

育てたい野菜について調べて種を蒔こう！



5/8(金)

自分の育てる野菜を責任をもって育てるため、ポッドに自分の名前を書いて、種を植えました。順調に育つ野菜もあれば、雑草にやられ芽が出てこなかった野菜も…。雑草を抜いたり、虫が寄ってこない方法を調べたりして、対策をしました。

種から芽が出てきたよ！
育て方について
もっと調べてみよう！

自分たちだけだと難しいところもあるな。
野菜作りに詳しい大峯さんに
アドバイスしてもらおう！



6/12(金)

大きくなった苗を畑に植えました。苗と苗の間隔や苗の植え方など、大峯さんにアドバイスしていただきました。

篠塚さん、小林さんに教えてもらいながら、
仁礼で行ってきた有機農法でお米を作ろう！



田んぼの中は、
意外と気持ちいい！
土がやわらかくなってくると
いいね！

苗を植えるときは、5本ずつ植えるの
と教えてもらったよ！
苗を手で植えるのは思った以上に
大変な仕事だとわかったよ。



6/5,12(金)

篠塚さん、小林さんに教えていただきながら、代掻きと田植えをしました。代掻きでは、自然・環境グループのみなさんや1・2年生も参加して行いました。泥だらけになりながら、土の匂いや感触を感じることができました。田植えでは、うるち米ともち米を植えました。篠塚さんから、「5本の苗から何粒のお米ができるかな？」と、問題を出していただきました。収穫の際にみんなで数えてみたいと思います。

1 活動のスタート（第1回～第2回） 全体

オリエンテーションで「どんな交流・福祉をしたいか」を出し合い、保育園交流と福祉の二つの方向に分かれました。6年生を中心に活動の目的を確認し、交流先へお願いの電話にも挑戦。相手に伝える経験から学びが始まりました。



2 初めての保育園交流とふり振り返り

（第3回～第4回） 個別
園の施設案内後、年齢ごとの教室に分かれて交流。手遊び、ブロック、ドッジボール、読み聞かせなどを一緒に体験しました。交流後は「次に工夫したいこと」を整理し、代表児童がしたい遊びを園長先生へ伝えました。



福祉グループの活動記録

グリーンアルム見学→交流2回

歌とコマを発表。宮下さんから、好きな歌や発表時の説明のしかたを教えてもらい、相手に喜んでもらう工夫を考えました。



3 準備を重ねて 保育園交流②（第5回）個別

約1時間の準備で、遊び方や声のかけ方を相談してから出発。雨で予定どおりに遊べない場面でも、折り紙や昔の遊びを使い、その場でできる活動を考えて動きました。



4 福祉ってなんだろう？（第6回） 全体

講師の先生から、福祉の考え方を学びました。福祉とは「困っている人を助ける」だけでなく、相手の立場に気づき、誰もが過ごしやすいように考えることだと学びました。



5 相手に合わせて 保育園交流③（第7回）個別

前回の反省を生かし、同じ園児と再交流。ホールを使う順番や時間を相談して決め、園児の目線で話す、裸足に合わせて上履きを脱ぐなど、相手に寄り添う姿が増えました。



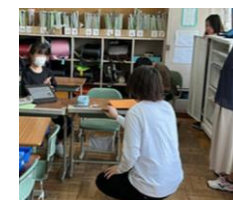
6 手話を学び、2学期へ（第8回） 全体

手話の講師から、手話で伝え合う方法を学びました。保育園からは「次は学校に行きたい」という声も届いています。2学期は、園児を学校に招待する交流へつなげていきます。



交流に向けた相談・準備

保育園交流の時間にも、福祉をやりたい児童はそれぞれの願いに向かって調べたり、相談したりしながら活動を進めました。



○全体・個別…全体で同じ学びをする場面と、個別の願いに向かって交流・交流の準備・調べ学習をする場面がありました。

④⑥のような外部講師による福祉体験を通し、相手を思い考える力を育み、交流や日常での実践につなげていきたいです。

○個別の願いによるグループ分け…保育園交流17名、福祉8名（グリーンアルム交流4名、手話2名、車椅子1名、生活のちがい・工夫1名）となっています。それぞれのグループに職員1名がつき、子どもたちの学びをサポートしています。

わくわく総合 自然環境グループ



第1回わくわく総合

4/13

まずは五感を使って「いきもの」を観察するフィールドワークを行いました。



生守：学校から歩いて3分。高仁神社の周りは、身近な大自然。生き物がたくさん。緑豊かな木々や心地よい風に包まれながら、大自然を舞台にした「いきもの探し」に夢中。見つけた生き物たちは、みんなでじっくり観察したあと、『生き物マップ』や『生き物図鑑』に記録するためにタブレットで写真撮影。

校舎周辺：桑の実やテントウムシ、カエル、池にはカワニナやヌマエビなどの生き物がたくさん住んでいました。



代掻き・田植え

食栽培グループと一緒に体験。ヒルなどの生き物も発見！

ごみ拾い（自然大好き）グループ

- ・仁礼の町をきれいにしたい！
- ・ごみ拾いをするだけではなく、ポイ捨てを減らすためのポスターを作って看板に貼りたい！



ビオトープ整備グループ

昨年整備したビオトープを今年もさらに整備して、色々な虫が集まるようにしたい！



かなへび研究グループ

かなへび大好きメンバーが集まる。とにかく、かなへびのことをもっと知りたい！



いきものマップ、図鑑づくり

仁礼小の周り・生守には、どんな生き物がいるのか、地図や図鑑にまとめたい！



わくわく総合 7 月上旬以降の各グループの活動の様子

	活動の様子(7 月～9 月)	今後の見通し(10.5～)
食 栽培	【夏野菜の栽培・調理】 ○野菜の漬物づくり。 郷土食ブランドづくりグループのみなさんに「きゅうり」、「きゃべつ」を使った漬物の作り方を教えていただいた。作った漬物を試食し、自分たちで育てた野菜を使って調理するときのイメージを膨らませた。きゅうりを育てた6年生は、9月に収穫し、教えていただいたレシピで「塩ずり」を作った。 ○夏野菜を使ったおやき・ニラせんべい・ぎょうざづくり 収穫した夏野菜の下ごしらえをし、冷凍しておいたものを使って調理した。「なす」、「トマト」、「かぼちゃ」、「きゃべつ」を育てた4,5年生はおやきを作った。郷土食ブランドづくりグループのみなさんに教えていただいたレシピでおやきを作ったグループもあれば、レシピをアレンジし、生地に野菜を入れたり、蒸すのではなく、焼いたりしながら調理するグループもあった。中身の味付けについても、調べたレシピをもとに、好みの味付けを目指して調理していた。ニラせんべいを作った6年生グループは、きゅうりを育てていた6年生も合流し、調理していた。自分たちでどんどん進め、目指したニラせんべいを作ることができた。ぎょうざを作った3年生は、先生にサポートしてもらいながら最後までやり抜くことができた。完成したぎょうざを担任の先生方に嬉しそうに届けに行っていた。また同じ食・栽培グループの友達にお裾分けし、「おいしい」と言ってもらい、喜んでいた。 【野沢菜の栽培・調理】 Oさんにご協力いただき、9月中旬に野沢菜の種をまき、下旬に間引きをした。育てた野沢菜をどのように調理したいか考え、調理の計画をしていく予定。	【稲刈り、はぜかけ】(全員) 10月5日(月)に稲刈り、はぜかけを行う予定。音楽会後(10月26日)に脱穀を行い、乾燥させ、精米する。調理の計画を立て、12月7日(月)に、お世話になった方々をお招きして感謝の会でお米を使った料理(五平餅?コネ付け?)を振る舞いたい。 【野沢菜の調理】(グループ) 11月2日(月)に野沢菜の調理をする予定。(おやき、野沢菜漬け等) なかなか時間が取れないため、必要な分だけ収穫し、お菜洗いは2時間目休みに行う。
文化 歴史	【バスを活用した地域巡り】 7 月以降、バスを使って 2 回の地域巡りを実施しました。仁礼地区の数々の神社や石小屋洞穴遺跡、湧水の場所(鷹清水、井戸端〔上米子〕、水神様、池守)を巡りました。地域のSさんに現地を案内・解説していただいたことで、子どもたちは身近な地域の歴史の深さや貴重な自然資源に直接触れ、地域への関心や疑問を大きく広げました。 【昔の文化から学ぶ竹細工づくり】	・【地域巡りを受けた探究の深掘り】インターネットや文献での調べ学習にとどまらず、地域の文化や歴史に詳しいSさんを再度お招きして直接お話を伺う機会を設けるなど、地域巡りでの体験をもとに仁礼地区についての探究をさらに深めていきます。 ・【竹細工と地域文化・歴史

	昔の文化や暮らしに興味を持ち、竹細工に取り組む児童もいます。昔の遊び道具として竹から弓や矢、竹馬を工夫して作ったり、箸やコップ、お皿、フォークといった日常用品を試行錯誤しながら製作したりしています。	の融合】竹細工に取り組んでいる子どもたちが「ただ作って終わり」とならないよう、昔の道具や生活用品の歴史的背景、地域の伝統文化や先人の暮らしの知恵と深く絡め合わせた学習へと展開していけたらいいなど考えています。 ・【全体発表会に向けたまとめ(12月)】これまで調べた情報や現地での実体験、竹細工の成果を振り返り、12月に計画されている全体発表会に向けて、自分たちの探究の成果を全校や地域の方へ分かりやすく発信できるよう、まとめの活動を進めていきます。
自然環境	【図鑑・マップ・カナヘビ・ビオトープグループ】 ○図鑑16人・マップ8人・カナヘビ2人 ・学校の周辺や生守にはどんな生き物や植物がいるかを、実際に出かけて観察を行っている。7月～9月(夏・秋)では、「たくさん虫がいる。」「春にはいなかった生き物がいる!」「草がすごい生長してる。」「ずっといなかったのにカナヘビ、いた!!」「トンボが多い。」と、子どもたちは、季節の違いを実際に肌で感じていた。 また、「えっ?カニが地面を歩いてる!なんで?雨がたくさん降った後だから?」「キノコがたくさん生えている。形がおもしろい。きのこって、こんなとこに生えるの?」などなど、いろんな不思議だなと思うことや疑問に思うことなども出てきていた。 ・長雨が続き、外に出かけられないときは、観察のまとめの続きをしたり、学校内にあるものや今まで観察してきた資料を使って、クイズを考えて、みんなで出し合ったりするなど、楽しんで生き物や植物に親しめる時間となった。 ○ビオトープ4人 「ビオトープを整備して、きれいにしたい」という願いを持ち、活動をしている。夏、草が思ったよりたくさん生えてしまったビオトープを見て、自分たちだけの力では草を取りきれないと考えた子どもたちは、教頭先生に話をして、庁務員の嶋川先生に直接	食・栽培グループと一緒に、10月5日(月)に稲刈り、はぜかけを行う予定。音楽会后(10月26日)に脱穀を行い、乾燥させ、精米する。 ・10/26に予定している脱穀後、地域の掲示板に完成したポスターを貼りに行く予定。他の掲示板(例:仁礼コミュニティセンター)にも貼ることができるか交渉予定。 ・晴天時:ゴミ拾い 地域の中で、ゴミ拾いをしきれいにしたいところや、もっときれいにしたいところを出し合って行き先を決める。 ・雨天時:校内清掃

	草刈りの相談に行った。また、6年生の一人は藻の増えすぎをなんとかしたいと考えた。「藻の発生を減らすには光を遮ればいい」ことは分かった。この先をどうしようか今考えている。また、草だらけになっている温室も綺麗にしたいという願いを持っているが、活動日に雨が降ってしまうことが続き、なかなか思うようにはかどらないことが悩み。 【ゴミ拾い(自然大好き)グループ】 ・「仁礼をきれいにしたい」「ゴミ拾いをする事でゴミを拾っていることを伝え、ゴミを捨てる人を減らし、町がきれいになってほしい」という願いをもち、校庭や学校周辺、近くのコンビニなどにゴミ拾いに出かけた。ゴミ拾いをする事を通して、「たくさんゴミが落ちていて汚いと思ったけれど、ゴミ拾いをする事で私たちの心もきれいになったように感じた」などと、振り返る姿が見られた。ゴミ拾いをすればするほど、「もっと拾ってきれいにしたい」「今度は〇〇に出かけて、そこもきれいにしたい」という次なる願いにもつながっていた。 ・天気が悪くゴミ拾いに出かけられないとき、「学校の中もきれいにしたいところがあるんだよね…」という子どものつぶやき(願い)から、校内清掃をすることになった。普段なかなか清掃ができない体育館(床だけではなくステージや器具庫など)を掃除すると、見違えるくらいきれいになって達成感を味わい、「やっぱり掃除って楽しい!きれいになるとうれしい!」と感じていた。 ・「このポスターを見てゴミを捨てる人が少しでも減ってほしい」という願いをもち、ポスター作りを進め、完成させた。	普段できないところや気になるところを出し合い、清掃する場所を決める。
福祉交流	【保育園交流】 ○保育園交流 年少6人 年中4人 年長6人 1学期は、保育園へ出かけていった。全てが雨のため、園庭を使用することができずに、各教室、ホールを順番に使っての交流となった。小学校の低学年と高学年の差以上に園児の発達は年齢によって違うため、それぞれが相手に合わせた活動を考えていた。年少は、一緒にブロックや積み木、年中は読み聞かせやゲーム、年長はドッチボールや道具を使用した遊び。2学期は小学校にお迎えする交流をした。体育館、視聴覚室をつかった縄跳びやおにごっこなどを行った。	【全員】 ○10月26日パラ卓球Nさんとの交流・体験活動 ○最終発表に向けてまとめ 【保育園交流】 10月5日、11月2日の交流において、小学校の環境や設備をいかした交流を考えて、準備をすすめている。校庭でのリレー、遊具、体育館でのアスレチック、宝探し、本の読み聞かせ、自分たちで考えたゲームなど、道具作りから協力しておこなっている。

	【福祉】7人 ○グリーンアルム交流 3人 1 学期は大勢のお年寄りの前で歌とコマを発表した。2 学期は個々に関わり交流したいという願いをもち、9 月 29 日に折り紙・コマ・すごろくで交流した。 ○手話 2人 手話で話したい・覚えたいという願いをもち、1 学期は視覚に障がいがある講師の先生方との交流・手話体験などを行った。2 学期は、昨年度までろう学校に勤めていた先生のお話を聞いたことで、10 月 5 日にろう学校見学をすることになった。 ○障がいのある方の生活 1人 自分たちと障がいのある方の生活のちがいについて知りたいという願いをもち、1 学期は講師の先生による「福祉って何？」のお話やインターネット検索、学級で観た映画『盲導犬クイール』などを通し、調べまとめてきた。10 月 5 日にろう学校見学をする。 ○車いす 1人 車いすのことについてくわしく知りたいという願いをもち、図書館の本やインターネット検索を活用し、車椅子の仕組みや速度などについて調べ、まとめてきた。	11 月 2 日 2 学期 2 回目の交流に向け準備・実践・ふりかえり・まとめ ふりかえり・まとめ + ※ ※ グリーンアルム以外の 4 人も、11 月 2 日グリーンアルム交流に参加し、それぞれの学びをお年寄りとのかかわりの中で生かすこともよいかもしれない。 ふりかえり・まとめ + ※ 11 月 16 日車いす体験・ふりかえり・まとめ + ※
生活 (1・2年)	【1 年】 ○あさがおの栽培 5 月初旬よりあさがおの種をまき、生育する様子を観察してきた。花の数を調べたり、種を集めたりして、あさがおの絵も描いた。 ○じゃがいも・ポップコーン・さつまいも・大根の栽培 学級の畑に、じゃがいもやポップコーンを育てて収穫した。 ○ダンゴムシ探し ダンゴムシについて本やインターネットで調べ、校地内にダンゴムシを探して、観察した。 ○たなばた 図工の「ちょきちょきかざり」で、はさみを使って作るいろいろな飾りについて学習し、竹に自分なりの七夕飾りや願いを書いた短冊をかざった。 ○かき氷作り 1 学期終業式の前日に、教室でかき氷作りを行い、みんなでおいしく食べた。	【1 年】 ○あさがおのつるを利用してリースを作る予定。 ○じゃがいも・大根はポテト餅や大根餅にして食べる予定。ポップコーンは親子レクリエーションで作る予定。 【連学年生活】 10月中旬～11月に、手作りのお祭りを行う予定。昨年度も経験している2年生が中心となり、自分のやってみたいお店ができるように計画していく。お祭りに招待する相手についても、子どもたちと話し合いながら決めていく。

	【2年】 春には、春見つけをしたり、そこで見つけたヨモギを使ったお団子作りをしたりした。その経験から、「食べられるものを育てたい」という願いをもった子どもたちと夏野菜を育てる計画を立て、①一人一鉢で自分の選んだ夏野菜を栽培する②学級の畑ではチームで協力して栽培した夏野菜を収穫して学級で食べるという2点について、栽培活動を行った。愛情と手間をかけて育てた新鮮野菜を学級で味わって食べる経験は、よい食育にもなった。 校内で飼育しているウサギのスマイルのお世話をしている。夏には毛がたくさん抜けることを発見したり、年をとるにつれて目の色が変わってきていることに気付いたりしながら、よりよい飼育について考えている。 夏には、ペットボトルを使った船を製作した。自分の思い描く船になるように工夫しながら、友達と試行錯誤を繰り返し、プールに浮かべて遊ぶことができた。 町探検の学習では、新しくなった仁礼コミュニティーセンターの見学をさせていただいたり、亀倉神社や萬龍寺まで散歩に行ったりしながら、地域学習をしている。	【2年】 11月：廃材を使ったおもちゃ作り 10～12月：秋冬に収穫する野菜の栽培 通年：ウサギの飼育 1～2月：そり遊び 12～1月：お正月遊びや昔遊び 10～12月：町探検
--	---	---

全20回中何回目か/日付
⑪ 8/31月 1～2校時
⑫ 9/11金 1～4校時
⑬ 9/28月 2校時
⑭ 10/ 2金 1～4校時
9/29 火 1～4校時に変更
⑮ 10/ 5月 1～4校時

⑯ 10/26月 2～4校時
⑰ 11/ 2月 2～4校時(公開)
⑱ 11/16月 3校時
⑲ 12/ 7月 1～4校時
⑳ 12/18金 3～4校時(発表会)